

平成30年度 木屋平地区地域福祉活動計画実行委員会 活動記録

取り組み	活動の内容	評価・今後の取り組みに向けて
<p>(環境整備) 植林・下草刈り</p>	<p>日時 平成30年7月13日(金) 場所 八幡230番地 内容 森林環境整備のため植林した広葉樹の生育が損なわないよう周辺の下草刈りを行った。</p>	<p>○毎年手入れを行っていることで、約3年前に植えた広葉樹も1メートル以上まで育っている。 ●引き続き、獣害対策や手入れを行っていききたい。</p> 
<p>(健康・栄養)(買い物) (環境整備)(移動手段) (介護)(生きがい) 住みやすい地域づくり アンケート調査のまとめ</p>	<p>日時 平成30年8月22日(水) 内容 住民の声を反映した地域福祉活動とするために、前年度実施したアンケートの集計と分析を行った。 (アンケート調査方法) 地区内に住む65歳以上の全ての住民を対象に、生活のなかで困っていること、不安に思うこと、防災対策等について、実行委員が聞き取り調査した。</p>	<p>○209名の調査のうち、71名(35%)の方が生活に何らかの困りごとを持っていた。外出、農作業、買い物、お金の管理、各種申請、電球交換や部屋の模様替え等、多様な課題が挙げられていた。 ●今回の調査結果を他団体と共有し、解決に向けて、連携して取り組んでいきたい。</p>
<p>(生きがい) 〈つながり〉 藍染め(生葉)作品づくり</p>  	<p>日時 平成30年10月30日(火) 場所 川井集会所 ほか 参加者 実行委員ほか 10名 ※つるぎの里利用者(柄付け) 内容 住民の「生きがい」や「つながり」づくりに向けて、つるぎの里利用者と藍染め作品づくりを行った。</p> 	<p>○準備に手間はかかるが、作業自体は、誰でも気軽に取り組むことができ、仕上がりを期待して楽しみながら作業が行え、会話ははずむことから、住民同士のつながりを持つ機会の材料として、大きなヒントとなった。 ○今回できあがった作品は、「こやだいら産業と文化のまつり」に出展し、地域の皆さんにも見ていただくことができた。また、多くの出展作品がある中、特別賞に選ばれた。 ●地域の皆さんと一緒に、作品づくりができる機会を設けていきたい。また、「すくも」の挑戦や藍を用いた「食」に関しても取り組んでみたい。</p> 
<p>(買い物) 〈つながり〉〈集落維持〉 他団体との意見交換会 (木屋平地区民生委員児童委員協議会)</p> 	<p>日時 平成30年11月29日(木) 場所 木屋平総合支所 3階会議室 参加者 実行委員2名、民生委員・児童委員会ほか 9名 内容 他機関との連携をより深められるよう、民生委員児童委員協議会との意見交換を行った。</p> 	<p>○地域福祉活動計画の内容や、これまでの実行委員会活動について、地域住民のことをよく知っている民生委員・児童委員の皆さんに紹介することができた。 ○「住みやすい地域づくりアンケート結果」をもとに住民の抱える課題について報告できた。今後、より連携を深めて、支え合うまちづくりに取り組むために、「支え合いバッチ」を紹介し、皆さんも普段から身に付けていただけることになった。 ●民生委員・児童委員会同様、つながりネットワーク協議会で連携している他の団体とも引き続き意見交換を行い、お互いの活動をより理解し合える機会を設けていきたい。</p>
<p>〈防災〉〈つながり〉 木屋平地区防災訓練</p>  	<p>日時 平成30年12月5日(水) 場所 川井集会所、総合支所前 参加者 実行委員 9名 地域住民 68名(自主防災会、サロン、ヘルスマイト等) 内容(講義) ・防災マップの見直しに向けて ・防災のススメ「まさかの時に備えよう」 (訓練) ①応急処置 ②新聞紙スリッパづくり ③放水訓練 ④炊き出し訓練</p> 	<p>○自主防災会やふれあいいいききサロン、ヘルスマイトと協力して訓練を実施したことで、多くの住民が参加し、住民同士のつながりを深めることができた。実行委員会の紹介もできた。 ○防災マップの重要性や日頃からの助け合いの必要性について、あらためて認識することができた。また、家の中の安全対策や備蓄品、日ごろから災害に備える心構えのほか、新聞紙スリッパや簡単な調理についても体験できる訓練となった。 ●災害が多発する中、防災・減災に向けて、住民同士のつながりを強められるよう、引き続き訓練を重ねていきたい。</p> 